

令和2年7月15日
総合政策局（公共交通・物流政策審議官部門）
モビリティサービス推進課

ユニバーサル社会における MaaS の活用方策 についての研究会を始動！

～バリアフリーの視点から MaaS の利便性向上を検討します～

国土交通省では、各地で MaaS（Mobility as a Service）の取組が広がっている中、障害者等の移動が困難な交通サービスの利用者に対して、一人一人のニーズに対応するための MaaS のあり方について検討が必要であると考えております。先進的な取組を進める民間事業者の取組も踏まえながら、活用方策例及び活用にあたっての課題等を整理することを目的として、有識者から構成される研究会を設置し、第1回を7月22日に開催いたします。

1. 日 時： 令和2年7月22日（水）15：00～（2時間程度）
2. 場 所： TKP ガーデンシティ御茶ノ水 ジョイント3A+3B+3C
東京都千代田区神田駿河台三丁目11-1 三井住友海上駿河台新館3階
3. 構 成 員： 別紙1参照
4. 議 事（予定）： 事業者ヒアリング、検討事項 等
5. 取 材 等：
 - ・会議は非公開にて行いますが、報道関係者に限り冒頭のみ（挨拶まで）カメラ撮り可能です。
 - ・カメラ撮りを希望される場合は、「別紙2」の様式にご記入の上、7月21日（火）15時までに（hqt-newmobility★gxb.mlit.go.jp）までメールにてお申し込み下さい。※「★」を「@」に置き換えて下さい。
 - ・会議当日は、14時45分までに会場前にお集まりください。
 - ・今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、取材については各社必要最小限とし、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願いいたします。風邪のような症状がある場合には、ご自身の体調を優先し、参加を控えていただきますよう併せてお願いいたします。
 - ・議事概要、会議資料は、後日、国土交通省ホームページにて公表予定です。

〈お問い合わせ先〉

総合政策局（公共交通・物流政策審議官部門）モビリティサービス推進課 佐藤、堀江
TEL：（03）5253-8111（内線54914、54906）、（03）5253-8980（直通）
FAX：（03）5253-1513

ユニバーサル社会における MaaS の活用方策についての研究会 構成員

【委員】

秋 山 哲 男 中央大学研究開発機構 教授（座長）
谷 口 綾 子 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授
中 村 文 彦 横浜国立大学 副学長・教授
牧 村 和 彦 計量計画研究所 理事

【オブザーバー】

一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会
一般社団法人全国レンタカー協会
定期航空協会
公益社団法人日本バス協会
一般社団法人日本民営鉄道協会
一般社団法人日本旅客船協会
認定 NPO 法人 DPI 日本会議
社会福祉法人日本視覚障害者団体連合
一般財団法人全日本ろうあ連盟
一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
京浜急行電鉄株式会社
東京地下鉄株式会社
東京都交通局
東日本旅客鉄道株式会社
全日本空輸株式会社
日本航空株式会社
株式会社ゼンリン
株式会社ヴァル研究所
株式会社駅探
ジョルダン株式会社
株式会社ナビタイム
WHILL 株式会社

【国土交通省】

総合政策局モビリティサービス推進課長（事務局）

総合政策局安心生活政策課長

総合政策局情報政策課長

鉄道局総務課企画室長

自動車局総務課企画室長

海事局総務課企画室長

海事局内航課旅客航路活性化推進室長

航空局総務課政策企画調査室長

道路局企画課評価室長

都市局都市計画課都市計画調査室長

「ユニバーサル社会における MaaS の活用方策に についての研究会」取材等登録票

提出日：令和 2 年 月 日

「ユニバーサル社会における MaaS の活用方策についての研究会」における頭撮りについて、下記の者を登録願います。

【登録者 1】

所属名： _____

氏名： _____

連絡先電話番号： _____

【登録者 2】

所属名： _____

氏名： _____

連絡先電話番号： _____

※7月21日（火）15時までにメール (hqt-newmobility★gxb.mlit.go.jp) にてお申し込みください。

※「★」を「@」に置き換えて下さい。